

オーディオ実験室収載

デジタルサントリーホールを楽しむ(14)

—ライブ配信(14)—

1. 始めに

恒例のサントリーホール チェンバーミュージック・ガーデンのシリーズのフィナーレが配信されましたので視聴しました。

2. デジタルサントリーホール配信プログラム

視聴したプログラムは下記のとおりです。

サントリーホールチェンバーミュージック・ガーデン

CMG フィナーレ 2022

【有料オンライン (ライブ&リピート) 配信あり】

日時 2022年6月19日(日)14:00 開演 (13:30 開場)

会場 ブルーローズ (小ホール)

出演

ヴァイオリン：池田菊衛／原田幸一郎／渡辺玲子

ヴィオラ：磯村和英

チェロ：辻本玲／堤剛／毛利伯郎

ピアノ：練木繁夫

ホルン：ラデク・バボラーク

ハープ：吉野直子

弦楽四重奏：

アトリウム弦楽四重奏団 (ヴァイオリン：ニキータ・ポリソグレブスキー／アントン・イリューニン、ヴィオラ：ドミトリー・ピツルコ、チェロ：アンナ・ゴレロヴァ)

ドヌムーザ弦楽四重奏団 (ヴァイオリン：木ノ村茉衣／入江真歩、ヴィオラ：森野開、チェロ：山梨浩子) *

レグルス・クアルテット (ヴァイオリン：吉江美桜／東條太河、ヴィオラ：山本周、チェロ：矢部優典) *

CMA アンサンブル

*サントリーホール室内楽アカデミー選抜フェロー

曲目

イベール：ヴァイオリン、チェロ、ハープのための三重奏曲

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第15番イ短調作品132より第3楽章

フランク：ピアノ五重奏曲へ短調より第1楽章

チャイコフスキー：弦楽四重奏曲第2番へ長調作品22より第3・4楽章

バルトーク：弦楽四重奏曲第2番より第2・3楽章

マーラー（バボラーク編曲）：交響曲第5番嬰ハ短調より第4楽章「アダージェット」（ホルン、ハーブ、弦楽四重奏用編曲）

バルトーク：弦楽のためのディヴェルティメントより第1・3楽章

ブルッフ（ベンアリ編曲）：『コル・ニドライ』作品47（ソロ・チェロ、ハーブ、弦楽アンサンブル用編曲）

C SECTORY HALL
Chamber Music Garden

サントリーホール
チェンバーミュージック・ガーデン

2022/6/4 Sat ~ 6/19 Sun.

出逢いと、夢と、喝采で育まれた庭



3. デジタルサントリーホール視聴の経過

受信手順に従って受信を開始します。配信は、オリジナルの動画配信プラットフォーム「SmartSTREAM」を使用した配信とのことでした。

指定された受信手順ですぐにサイトに入れました。Sonica DAC の表示は48KHz となっています。

チェンバーミュージック・ガーデンのシリーズのフィナーレということで、ベテラン、中堅、新鋭入り混じってのシリーズ参加メンバー総出の多彩なプログラムの演奏です。

イベールのヴァイオリン、チェロ、ハーブのための三重奏曲は、あまり聴く機会のない曲ですが、ベテラン、中堅の奏者による熱演でした。



若手のレグルス・クアルテットの弦楽四重奏の演奏が続き、ベテランの奏者達によるフランクのピアノ五重奏曲の演奏がありました。味わい深い演奏でした。



前報(12)のベートーベンチクルスに登場したアトリウム弦楽四重奏団のチャイコフスキーの弦楽四重奏曲第2番の演奏もありました。

休憩を挟んで後半は、若手のドヌムーザ弦楽四重奏団によるバルトークの弦楽四重奏曲第2番の演奏がありました。難曲ですが、意欲的な演奏です。



ここからはバボラークが登場してマーラーの交響曲第5番やバルトークの弦楽のためのディヴェルティメント、ブルッフの『コル・ニドライ』などの編曲が演奏されました。バルトークの弦楽のためのディヴェルティメントの指揮は、バボラークです。最後は、チェロとハープの加わったアンサンブルで締めくくりとなりました。



前報(13)でも述べましたように、ストリーミング再生の信号ラインにダンパーブレイクの適用を行った結果、音の構成の複雑なバルトークの弦楽四重奏曲第2番やバルトークの弦楽のためのディヴェルティメントも破綻なく再生できるようになっています。

4. まとめ

デジタルサントリーホールのアーカイブ配信が視聴可能でした。

以上